

小学校第3学年 学級活動(3)学習指導案

日 時 令和元年10月24日(木) 2校時

指導者 教育センター所員 原田 亮一

1 題材名 本物のそうじ名人になろう

学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、清掃や給食等の当番活動に進んで取り組むことができる児童が多い。

清掃に対する意識について、事前アンケートをとったところ、「そうじが好き」と答えた児童も「一生懸命にしている」と答えた児童も、「そうじは大切」だと答えた児童も大変多かった。清掃をしなければいけないという意識をもって、一生懸命にしている児童が多いことが分かる。

「そうじは大切」だと答えた理由は、「ほこりがたまって嫌な気持ちがある」、「きれいだと気持ちがいいから」等、自分がどう感じるのかを記述している児童が多い。清掃をして、その場所がきれいになることへの気持ちよさを感じている児童は多いが、みんなのために働くことの大切さや使う人の立場を考えて働くなど、働くことの意義を理解し、社会参画意識をもって清掃をしている児童は少ない。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
そうじが好き	68%	19%	5%	8%
そうじを一生懸命にしている	77%	15%	3%	5%
そうじは大切	92%	8%	0%	0%

表1 事前アンケートの結果 (n=38人)

(2) 題材設定の理由

本題材は、個々の児童の将来に向けた自己実現に関わるものであり、一人一人の主体的な意思決定に基づく実践につなげることをねらいとしている。小学校特別活動における今回の学習指導要領の改訂では、特別活動を要として、学校教育全体を通してキャリア教育を適切に行うことが示された。キャリア教育で扱う内容は、児童の現在及び将来の生き方を考える基盤になるものである。「キャリア形成」とは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ね」を意味する。これからの学びや生き方を見直し、これまでの活動を振り返るなどして自らのキャリア形成を図ることは、これからの社会を生き抜いていく上で小学校においても重要な課題である。

清掃は全児童が行っている当番活動である。清掃には全員に役割があり、同じ時間に行い、輪番制によって全ての仕事に携わるといった特性がある。そのため、本題材はそれぞれの児童の共通の課題として捉えやすいと考えられる。周囲がきれいになる様子や上級生が清掃に取り組む姿等から、なりたい自分の姿も想像しやすいと思われる。解決のための実践活動の際には、周囲がきれいになることで働くことへの達成感を感じたり、友達が頑張る姿を共有したりすることができるだろう。当番活動について見直し、清掃をしてよかったと感じられる取組をしていくことで、みんなのために働くことのよさを味わわせ、社会参画意識を醸成できると考え、本題材を設定した。

(3) 指導過程と手立てについて

指導に当たっては、現在の自分に合った自己目標を設定し、実践活動や自分の実践を振り返る過程を経験する中で、なりたい自分に近付くことや仲間と協働することの大切さを意識させたい。

そこで、事前の取組として、児童の清掃に対する意識調査を行う。これは、本時において題材への関心をもたせるとともに、それぞれの児童が題材に対する問題をつかみやすくするために使用する。また、本時で使うワークシートへ事前に自分の考えを記入させておく。これは、題材に対する自分や友達の現状を把握しやすくしたり、解決への見通しをもったりして授業に参加できるようにするためである。

本時は、つかむ（できている？）→さぐる（どうして？）→見付ける（どうする？）→決める（こうする！）の学習過程で行う。つかむ段階では、清掃を一生懸命に行っているかについて、自分の様子や友達の様子を発表させ、題材に対する自分や学級の実態を明らかにする。その際、事前に行った意識調査の集計結果を知らせたり、清掃前後の教室の写真を見せたりすることで、自分たちで気付かなかったところにも視野を広げ、題材への問題意識を高める。さぐる段階では、清掃をすることの大切さに気付くことができるようにするために、なぜ清掃をするのかを考えさせる。話し合いの途中に、6年生が清掃をしたりインタビューに答えたりする動画を提示することで、みんなのために働くことの気持ちよさや責任をもって仕事に取り組むことの大切さに気付くことができるようにしたい。見付ける段階では、そうじ名人になるための方法を出し合い、方法に対する児童の考えが広がるようにする。決める段階では、出し合った方法を参考にして、自分で解決できそうなことを児童が意思決定し、自己目標を書くことで、実践への意欲をもてるようにする。児童が書いた自己目標は教室内に掲示し、友達と互いに活動の様子や努力を確認することができるようにする。

事後には、実践活動（やってみる）と振り返り（どうだった？）を行う。実践活動では、清掃時間の前に自己目標を確認し、それを意識しながら清掃を行えるようにする。数日に一回自己評価を行い、実践意欲が継続できるようにする。実践後に振り返りの時間を設ける。その際、友達と実践の様子を交流することで、互いにその頑張りを認め合う場をつくり、自己実現に向かわせるとともに、次の課題解決への意欲につなげたい。

3 題材のねらい

社会参画意識をもって清掃に取り組むことの大切さを知り、自己のよさを生かし、目標の達成を目指して主体的に行動しようとする。

4 評価規準

	よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
の 評 価 規 準 第 三 学 年 及 び 第 四 学 年	働くことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の在り方を身に付けている。	働くことについて、よりよく生活するための課題に気付く、解決方法について話し合い、自分に合った方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。
本 題 材 の 評 価 規 準	清掃の意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら目標達成への見通しをもち、社会参画意識をもって清掃をしている。	本物のそうじ名人になるために、自分の実態に合った自己目標を意思決定し、自己目標に向かって実践している。	自分の清掃の仕方を振り返り、清掃に対する問題意識をもち、他者と協働しながらなりたい自分に向けて意欲的に行動しようとしている。

5 事前指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・清掃に対する意識をアンケートに記入する。	・これまでの自分の清掃の仕方や清掃に対する意識を振り返らせることで、題材についての児童の問題意識を高める。	【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】 ・アンケートを記入し、これまでの自分の清掃の仕方について振り返り、問題意識をもつ。(発言・ワークシート)

6 本時の指導

(1) 目標

社会参画意識をもって清掃をするために、現在の自分に合った自己目標を考え、意思決定をする。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
導入 (つかむ)	1 清掃に一生懸命に取り組むことができているかについて考える。 ～予想される児童の反応～ ・最後まできちんとしている。 ・すみずみまできれいにしていない。 ・〇〇さんは、いつも丁寧にそうじをしている。	・自分や友達の問題点ばかりが出ているときは、頑張っている面も出すように助言する。 ・自分の様子に加えて、友達の様子を発表したり、ペア活動で報告し合ったりすることで、自分では気付かなかったよさや頑張りに気付くことができるようにする。 ・現在の様子を更に深く考えられるようにするために、事前に行ったアンケートの結果を提示する。	
	本物のそうじ名人になるために、がんばることを決めよう。		
展開 (さぐる、見付ける)	2 どうして、清掃をするのかを考える。 ～予想される児童の反応～ ・そうじはしないといけないことだから。 ・ごみが多いと気持ちがよくなから。 ・身の回りがきれいだと、物を使いやすいから。 ・ほこりが多いと病気になってしまうから。 ・自分たちが使っている場所だから。 3 本物のそうじ名人になるためにどうすればよいかを話し合う。	・清掃をする理由を考えさせることで、社会参画意識への気付きを促し、清掃の大切さを考えられるようにする。 ・児童の意見が出ない場合には、清掃をしたときの気持ちとしなかったときの気持ちを比べることで清掃の大切さに気付くことができるようにする。 ・6年生の清掃の様子や清掃への意識に関するインタビューに答える動画を見ながら見付けたよさをワークシートにメモし、児童が6年生の思いを知ること、なりたい自分の姿への見通しをもてるようにする。 ・1の学習活動で児童が出した意見を振り返ることで、今の自分や学級の実態に合うような方法を考えさせる。	【よりよい生活を築くための知識・技能】 ・清掃の意義を理解している。 (発言・ワークシート)

	<p>～予想される児童の反応～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの時刻まで一生懸命にそうじをする。 ・自分の仕事が終わったら友達の仕事を手伝う。 ・置かれている物を動かして、ほうきではなく。 ・汚れているところを進んで探し、ぞうきんでふく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でできることと学級全体でないとできないことに分けて板書したり、実現可能かどうかを児童に考えさせたりすることで、その後の意思決定を行いやすいようにする。 ・具体的な清掃の方法だけでなく、清掃をするときの心構えにも触れ、働くことの意義に考えを広げる。 	
終末 (決める)	<p>4 話し合ったことを生かして、自己目標を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何を書いてよいか迷っている児童には、今できていることを伝えたり、板書の内容と一緒に確認したりするなど、個別に支援をする。 ・自分に合った実践のめあてをもつことができたか、また、その理由を振り返るように促す。 ・もう少し頑張ればできることを実践のめあてにするよう助言する。 ・自己目標を近くの児童と紹介し合い、めあてカードに清書することで、実践への意欲をもたせる。 	<p>【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物のそうじ名人になるために、自分の実態に合った自己目標を意思決定することができる。 (発言・ワークシート)

7 事後指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃の時間に自己目標に向かって実践活動を行う。 ・自己目標や実践方法を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を行う前に、児童が自己目標を確認し、目標を意識しながら実践活動を行えるようにする。 ・定期的に自己評価を行い、自己目標や実践活動を見直せるようにするため、修正可能なワークシートを用意する。 ・友達同士で互いの頑張りを認め励まししながら、実践の継続化を図るようにする。 ・教師も児童の様子を称賛したり、変容が見られる点を取り上げたりして実践活動の価値付けを行う。 	<p>【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が決めた自己目標に向かって実践している。 (めあてカード・行動観察) <p>【よりよい生活を築くための知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のよさを生かしながら目標達成への見通しをもち、社会参画意識をもって清掃をしている。 (めあてカード・発言・行動観察) <p>【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との交流において、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、次の活動に向けて、主体的に行動しようとしている。(めあてカード・発言)